## 教科目名 英語 IA (English IA)

**学科名·学年** : 全学科 1年

単位数など: 必修 2単位 (前期1コマ,後期1コマ,授業時間46.5時間)

担 当 教 員 : 峯本敏男

## 授業の概要

中学校で習った英語を更に掘り下げて発展させ,英文法の基礎力をつけさせる. 具体的には,高校1年生レベルの英文法の習得と演習によって,基礎英語力の養成への橋渡しを行う. また長期休暇等には課題によって,復習や自学自習を行わせる.

達成目標と評価方法 **大分高専目標(C2)** 

- (1) 英文法の基本を習得し、基礎的な英語構文を理解できるようになる. (定期試験)
- (2) 英語の基本的な構文や表現を習得し、基礎的な英語を表現できるようになる. (定期試験)

E	+==	<del>#</del>	百		巾索	田紹在の白コ上や	
回	授	業	項	目	内 容	理解度の自己点検	
	I-S NIK Y Y					【理解の度合い】	
1	授業オリエ	ンテージ	ンョン		授業の概要,学習方法等を説明する.		
2	文型 (1)				第1,2,3文型を復習する.		
3	文型 (2)				第4,5文型を学ぶ.		
4	文型 (3)				注意すべき文型と語順について学ぶ.		
5	文の種類				平叙文, 疑問文, 命令文, 感嘆文を学ぶ.		
6	時制 (1)				現在形,現在進行形を復習する.		
7	時制 (2)				過去形, 過去進行形を学ぶ.		
8	時制 (3)				未来形,未来進行形を学ぶ.		
9	前期中間詞	験				【試験の点数】 点	
10	前期中間詞	験の解答	答と解説			【理解の度合い】	
	完了形(1	)			現在完了(進行)形の構文と用法を学ぶ.		
11	完了形(2	)			過去完了(進行)形の構文と用法を学ぶ.		
12	完了形(3				未来完了形の構文と用法を学ぶ.		
13	助動詞(1				基本構文と can, may, must について学ぶ.		
14	助動詞(2				will, would, should について学ぶ.		
					, "outa, bhouta (5 > € 1 %".	Tanga a bow T	
15	前期期末討					【試験の点数】 点	
	前期期末詞		学と解説		N. # 1- 0.5 H. #1 = 1 # 1. ) H. V. 3 = 2 # 2	Truta o + A . Y	
16	助動詞(3	*			注意すべき助動詞構文と用法を理解する.	【理解の度合い】	
17	受動態(1				受動態の基本構文と応用表現を学ぶ.		
18	受動態(2	•			受動態の進行形,完了形の構文を学ぶ.		
19	受動態(3				注意すべき受動態の構文と表現を学ぶ.		
20	不定詞(1				不定詞の基本構文と用法を復習する.		
21	不定詞(2	)			不定詞の副詞用法を学ぶ.		
22	不定詞(3	)			注意すべき不定詞構文と用法を学ぶ.		
23	後期中間討	 :				【試験の点数】 点	
24	後期中間詞		なレ 解説	. <b></b>		【理解の度合い】	
21	動名詞(1		1 C/11 NC	•	動名詞の基本用法と構文を学ぶ.		
25	動名詞(2	•			動名詞の応用表現について学ぶ.		
26	分詞 (1)	,			分詞の基本用法について学ぶ.		
27	分詞 (2)				分詞の応用表現について学ぶ。		
28	分詞 (2)				分詞構文の基本用法を理解する.		
29	分詞 (3) 分詞 (4)				分詞構文の基本用伝を理解する. 分詞構文の応用表現を学ぶ.		
∠9 		,			刀門悟人ツル用衣先を子や.	   <u>-</u>	
30	後期期末討					【試験の点数】 点	
	後期期末討						
<b>履修上の注意</b> 日頃から予習・復習を心がけ、授業中も集中して発話練習にも積極的に 取り組むこと。					け,授業中も集中して発話練習にも積極的に		
					22	【総合達成度】	
教	科 書	総合	英語 be	English Gr	ammar 23」,いいずな書店.		
参	考 図 書	「総合	英語 be	] Voyage to	o English Grammar		
自学	上の注意	「継続は力なり」,1日に30分は英語に触れる努力をすること.					
関	連 科 目 英語 IB, 英語 LL, 英会話, 英語 IIA						
		達成目標について4回の定期試験および課題で評価する.					
		総合評	価は定期	閉試験(80%)	+課題(20%)とし,総合評価が60点以上		
総	合 評 価	を合格				「公人並行」	
	-			出し,総合評価	mが 40∼59 点の者に対しては,再試験を行	【総合評価】 点	
					授業において指示する.		